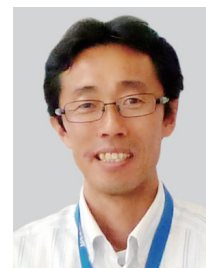


## データ工学と情報マネジメント論文特集の発行にあたって

データ工学と情報マネジメント論文特集編集委員会

委員長 鬼塚 真



データベース技術に代表されるデータ工学分野では、昨今のデータベースの応用領域の拡大や、膨大かつ多様なデータの出現を受け、活発な研究活動が行われている。電子情報通信学会データ工学研究専門委員会が共催しているデータ工学と情報マネジメントに関するフォーラム（DEIMフォーラム）では、幅広くデータ工学並びに情報マネジメント分野を対象として、先進的な研究成果に対する発表と活発な議論を行っている。こうした背景を踏まえ、昨年に引き続き、情報・システムソサイエティ和文論文誌にて「データ工学と情報マネジメント論文特集」を企画するに至った。DEIMフォーラムで発表された研究を更に発展させた論文、あるいは同フォーラムに限らずデータ工学と情報マネジメントに関連した論文を広く募集したところ、18編の応募があり、厳正な査読の結果、研究会推薦論文をはじめとする8編の論文を採録することとなった。

今回の特集では、今日のデータ工学と情報マネジメントの研究コミュニティの広がりを象徴するように、時系列データマイニング、ソーシャルコンピューティング、データベースエンジン、機械学習まで、幅広いトピックの論文を網羅している。この特集号が、データ工学と情報マネジメントの研究コミュニティを中心に、真に社会に役立つIT革新を生み出す契機となれば幸いである。

本特集を編集するにあたり、厳しいスケジュールにもかかわらず丁寧な査読をして下さった査読委員の方々、並びに編集作業に携わって下さった編集委員の方々に厚く御礼申し上げます。特に、編集幹事の合田和生先生（東京大学）、吉田尚史先生（駒澤大学）、太田学先生（岡山大学）には、編集作業全般に渡り多大な御尽力を頂いた。更に、学会出版事務局の江藤忠和様にも大変お世話になった。この場をお借りして、皆様に心より御礼申し上げます。

最後に、本特集ならびにDEIMフォーラムをはじめ、データ工学と情報マネジメント分野の研究活動が今後ますます発展していくことを強く祈念するものである。

おにづか まこと  
鬼塚 真（正員） 大阪大学大学院情報科学研究科教授。1991年東京工業大学情報工学科卒。同年、NTT入社。2000～2001年ワシントン大学客員研究員、2013～2014年電気通信大学客員教授、2012～2014 NTT特別研究員などを経て現職に至る。博士(工学)。2004年情報処理学会山下記念賞。2008年日本データベース学会上林奨励賞。2013年電子情報通信学会論文賞、情報処理学会論文賞。2014年電子情報通信学会I-Scoverチャレンジ最優秀賞、日本データベース学会論文賞。2015年電子情報通信学会論文賞。2017年日本データベース学会論文賞。現在、電子情報通信学会データ工学研究専門委員会副委員長。これまで、VLDB、ICDE、DASFAA、WAIM、DaWaK、HPGDMP等のプログラム委員等。ACM、電子情報通信学会、情報処理学会、日本データベース学会各会員。

データ工学と情報マネジメント論文特集編集委員会

委員 長  
幹事 員

鬼塚 真  
合田 和生・吉田 尚史・太田 学  
牛尼 剛聡・大島 裕明・小山 聡・河合 由起子  
熊本 忠彦・清水 敏隆之・鷹野 孝典・戸田 浩之  
野宮 浩晃・橋本 隆子・平手 勇宇・藤原 靖宏  
的野 整・義久 智樹・渡辺 知恵美